

教専寺新聞

「いのち」

令和六年五月号

No. 246



教専寺ホームページ

永代経法座つとまる

四月二十四日、春の雨がしたたる中、「永代経法座」をおつとめいたしました。

急に予定が変更となり、朝席には牛尾かおり先生(深川・明光寺さま)がおいでくださいました。優しく明るい語り口で、私たちにかけられた仏さまの願いの尊さをお話しくださり、昼席は海谷真之先生(江田島・光源寺さま)が、私たちのために説かれたお浄土について熱くわかりやすくお取次ぎくださいました。

お参りくださった皆さんと一緒に、うなづきつつ、笑ったり、ホロリと涙しながらお聴聞させていただきました。

5月の予定

【三才児初参式】

5月19日(日)午前10時より

【降誕会法座】

5月23日(木)

昼席 午後1時30分より

講師 根来 暁師(八本松・西福寺)

【仏婦例会】

5月17日(金)午後1時30分より

【清掃奉仕】

毎週金曜日午後2時より

【教安寺】

5月18日(土)初参式 5月19日(日)降誕会法座

コロナが5類に移行して初めてのゴールデンウィークです。

教専寺も今年久しぶりにおときを復活させます。

婦人会の皆さんも5年以上うてをふるう場面がなく、その間に体調をくずされた方などいらっしゃる、おときを断念することも考えましたが、今回婦人会の皆さんが気持ちを奮い立たせておときを作ってくださいます。

どうぞ、降誕会法座にお参りいただき、おとき券をお求めください。お帰りにおとき(ばら寿司)と交換させていただきます。

スリランカ大使がカレーを届ける

今こそ仏教の精神を

スリランカ大使館のロドニー・ペレーラ駐日大使と夫人の雅子さんが、在日スリランカ人の料理人の皆さんとともに今年二月、能登半島地震の被災地、石川県七尾市の避難所でスリランカカレーの炊き出しを行った後、同市の浄尊寺を訪ね、避難生活を送るご門徒方などにカレー弁当を配られました。

大使夫人の雅子さんは群馬県桐生市の重恩寺のご出身で浄土真宗本願寺派の僧侶です。

浄尊寺では、ペレーラ大使と僧侶の衣と輪袈裟を着けた雅子さんらが、集まったご門徒方に声をかけながらカレー弁当を手渡していった。勝尾住職は「門徒さ

んには自宅で生活している方も多く、避難所で炊き出しがあっても食べ物が届かない場合が多い。『被災者に寄り添いたい』というペレーラ大使や雅子さんらの心のこもったスリランカカレーを手にした皆さんは、とてもよろこばれていた」と話されました。

翌日、大使夫妻は金沢市の金沢仏院内の現地緊急災害対策本部を訪問し、被災状況や支援活動の様子などを聞かれました。

ペレーラ大使はこう語られます。「伝統ある浄土真宗の寺院が数多く被災したことに心が痛む。そうした寺院や門徒の人たちをしっかりと支援されていることもよくわかった。仏教の慈悲、寄り添いの精神が今こそ求められている。被災した人たちの生活を守るために、私たちもできるかぎりの支援をしていきたい」